

平成 28 年度事業計画書

平成 28 年 4 月 1 日～平成 29 年 3 月 31 日

公益財団法人杉山検校遺徳顕彰会

定款第 2 章第 3 条の目的達成のため第 4 条の事業を「杉山総検校和一の遺徳の顕彰に関わる事業」と統括して、学術研究、情報提供及び顕彰に関わる事業を行う。また「杉山和一生誕 400 年記念事業【杉山和一記念館】の運営に着手する。

I 学術研究に関わる事業

1. 学術講習会の開催(年 6 回)

5 月、7 月、9 月、11 月、翌 1 月、3 月

テーマ 「生きたツボの取り方」(仮称)

講師 形井秀一氏(筑波技術大学鍼灸学専攻教授、日本経穴委員会委員長、日本伝統鍼灸学会会長)

戸ヶ崎正男氏(東洋鍼灸専門学校講師、日本伝統鍼灸学会学術部長、蓬治療所所長)

2. 講演会・研修事業

- (1) サイトワールド企画展：(公社)温故学会と共催参加
講演 「杉山和一と塙保己一、記念館の創設と活動について」
すみだ産業会館 11 月
- (2) 鍼灸講習所復興事業：「鍼灸按治療所」にて鍼灸
按摩マッサージ指圧に関する研修(毎月実施)
指導は 12 名
- (3) 春の交流会：普段の研修の成果を発表 翌 1 月

II 情報提供に関わる事業

1. 広報、機関誌の発行

- (1) 広報「杉山」の配布：年 4 回(発行 100 号を記念して 4、7 月
合併号、10 月、翌 1 月)
- (2) 機関誌の発行 『平成 29 年版敬神暦一くらしと暦』：7 月まで
に編集 9 月に 3,000 部発行、デージー版作成、実費配布

2. 杉山検校に関わる書籍の刊行

- (1) 「『杉山和一』目の見えない人たちを救った偉人」
(原作 今村鎮夫 編集 執印史恵 挿絵 山田倫子)再版
- (2) 復刻『杉山流三部書』(第2版、本会設立80年記念)配布
- (3) 『日本盲人生業史』河越恭平著 直筆原稿に基づき
刊行(点字版、墨字版、デージー音声版)
- (4) その他: 関係教材、図書などの刊行

3. 広報普及活動

ホームページの充実、パンフレット及びレリーフを作成し啓発活動に資する。

- 4. 杉山検校に関する調査研究及びボランティア講習会の開催: 古書及び史料の整備・保存、史跡調査、三嶋安一に関わる研究
- 5. 展示会への参加: 関係行事において展示発表し啓発に努める。
- 6. 魅力あるチャリティ事業
内容未定 (公社)東京都盲人福祉協会と共催

III 顕彰に関わる事業

- 1. 第86回杉山検校を偲ぶ会: 「鍼管に感謝の礼」を関係者らとともに行う。杉山和一記念館多目的室、5月29日(日)
- 2. 第37回治療鍼に感謝の集い: 「鍼供養」弥勒寺 9月
- 3. 史跡並びに古文書などの保存維持、管理、公開
 - (1) 惣録屋敷史跡「杉山和一記念館、江島杉山神社」の公開: 見学者に杉山検校の遺徳を解説、弁天修行祠など史跡並びに鍼灸・あん摩に関する古医書(130巻余)などを公開するとともに萬徳山弥勒寺の杉山和一墓所及び鍼供養塔を紹介する。
 - (2) 史跡保存維持: 江の島、高野山金剛峰寺の杉山和一墓所の保存・管理
- 4. 顕彰活動
 - (1) 全国の会員への顕彰活動の支援
 - (2) 友好団体との顕彰活動
 - 神奈川県関係団体主催の杉山祭との顕彰
藤沢市江の島 5月
 - 東京都盲人福祉協会福祉大会での啓発 10月
 - (3) 三重県、福島県など各県の顕彰活動行事と連絡し、顕彰啓発を深める。
- 5. 郷土文化活動への協力・支援

(1) 惣録屋敷史跡（施設江島杉山神社、杉山和一記念館）の維持管理：地元の千歳の町内会と協力し維持管理する。

(2) 地元文化支援事業

○墨田区「両国にぎわい祭り」：墨田区が開催する観光事業に協力支援 4月

○同「春のグランドデザイン推進スタンプラリーまちあるきブラ」： 翌年3月

○江島杉山神社行事に随時協力する。

6. 杉山和一生誕400年記念事業「杉山和一記念館での資料館活動
昨年度建築完成に伴い記念館活動を随時行う。

(1) 記念館活動の管理運営の体制作り

(2) 展示室、研修室および多目的室の使用法について具体化を図る

IV その他

杉山和一遺徳啓発助成事業

本会に関わる事業について、各種助成を受けて推進する。